

いのちの言の葉 2016

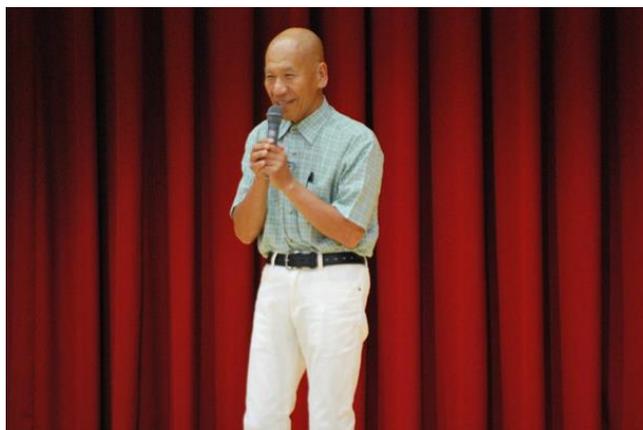
富山県教育委員会 平成28年度いのちの教育総合支援事業

いのちの先生「障害者自立支援の会代表」

いのちの温もりにふれてみて（道徳）
高岡市立戸出西部小学校
平成28年6月9日実施

【授業の概要】

- ① 教育訓練をしたときのエピソード
- ② 豆腐屋さんでの仕事の様子の紹介
(DVD 視聴)
- ③ 一人一人のパフォーマンス
- ④ 夢を持ち続けることの大切さ



児童から保護者へ

いのちの授業では、大切なことを学びました。どんな障害をもって生まれても、障害がなく生まれてもいのちは一つ、それはみんな同じです。だから、何があっても人に嫌なことをしたらだめだと改めて思いました。お互いにいのちを大切にしようね。

保護者から児童へ

いのちの授業を通し、いのちの大切さについて少し考えることができたと思います。障害をもっている、いないに関わらず、みんな同じ人間です。一生懸命に生きていくことで、できることも増えてきます。だれに対しても平等に接してほしいです。

児童から保護者へ

いのちの先生と一緒に豆腐屋で働いているみなさんを見て、いのちの大切さがすごく分かりました。お母さん、私を生んでくれてありがとうございます。今まで大切に育ててくれたおかげで、元気に育つことができました。

保護者から児童へ

毎日、当たり前のように笑ったり怒ったりしていることは本当に幸せですね。それを当たり前のことだと思うのではなく、生まれてきたことやいろいろな人たちのおかげで元気に生きていることに対して感謝の気持ちを忘れずに、これからも自分のいのちを大切にしていってください。生まれてきてくれてありがとう。